

# 第57回ITTO理事会における拠出表明一

林野庁は、2021年11月～12月に開催された第57回理事会(ITTC57)で、3つのプロジェクト(計約74百万円)への拠出を表明。

- 各プロジェクトは、**コスタリカにおける人工林経営の競争力向上**、**マレーシアにおける住民参加による森林経営**、**ベトナムにおける持続可能な木材消費の促進**。

## コスタリカにおける人工林経営の競争力向上

**【拠出額】** 235,765米ドル(約25百万円)  
(事業費総額: 335,765米ドル(米国も拠出))

**【実施機関】** コスタリカ林業イノベーション研究センター

**【実施期間】** 36ヶ月

### 【背景】

コスタリカでは、2010年代以降、森林保全に政策の焦点が移行したため、人工林経営が停滞して、**国内市場への木材供給が減少**。これにより、保護地域等における**天然林の違法伐採リスクが増大**。

人工林経営の停滞は、雇用機会の減少、木材の他資材への代替、REDD+目標達成の阻害にもつながるとの指摘あり。

### 【事業内容】

人工林経営の競争力向上を通じて、国内で必要な木材の供給量を確保し、天然林における違法伐採リスクを回避。合わせて、森林の炭素貯蔵能力を向上させ、REDD+目標の達成に貢献。

主な活動は、以下の通り。

公的な融資や補助金に代わる効率的な**資金システムの構築**  
地形や土壌条件に適合した**植林木の植栽による生産性の向上**  
植林木を使った**高付加価値製品の開発**(例:消費者自らが組み立てる折りたたみ式家具)

## マレーシア・サラワク州における保全と持続可能な開発のための住民参加による森林経営

**【拠出額】** 100,000米ドル(約10百万円)  
(事業費総額: 814,128米ドル(ブルーノ・マンサー基金(スイスのNGO)とスイス・バーゼル市も拠出))

**【実施機関】** サラワク州森林局

**【実施期間】** 36ヶ月

### 【背景】

サラワク州の「ペナン平和公園」(現:上流バラム森林地域)は、総面積約28万haで、そのうち約8万haが原生林。森林内では、**複数の少数民族が森林に依存して生活**。

1980年代から、**伐採業者による伐採が進展**。森林資源の持続性を脅かし、伐採に対する少数民族の抵抗運動も発生。

### 【事業内容】

少数民族、伐採業者、州政府等の広範な利害関係者の参加により、**少数民族の利益も考慮した森林管理体制を構築**するため、以下の活動を通じて、「**総合森林経営計画**」を策定。

地区の**森林生態系や生物資源価値の調査**  
慣習的権利の調査による**土地利用紛争解決プロセスの提示**  
各民族の生活実態を踏まえた**持続可能な生計向上プランの策定**  
(例:文化資源を活用したエコツーリズムの実施、生活インフラの整備等)

# 第57回理事会における拠出表明 -

ベトナムの木材産業は、過去20年間、輸出に依存して急速に成長。今後の経済成長により、国内市場の拡大が期待。他方、コロナ禍では、輸出依存の不安定性を露呈。

過去20年で420万haの人工林を植栽したが、短伐期のチップ材生産に留まる。人工林の経済価値向上の余地あり。

我が国は、2021年から、ITTOを通じて、ベトナムにおける持続可能な木材利用拡大に向けたプロジェクトを支援。我が国から、国内での木材利用拡大の経験を踏まえた助言を提供。

## ベトナムにおける木材需給の動向

### (輸出依存)

- ベトナムの木材産業は、過去20年間、輸出に依存して急速に成長。2020年の木材・木材製品輸出額は123億ドルで世界第5位。(2020年には、合板生産量150万m<sup>3</sup>のうち148万m<sup>3</sup>を輸出。)
- 他方、国内の木材取引額は25～30億ドル程度で、輸出額の1/5程度。今後の人口増加と経済成長により、近い将来に50～60億ドルに達する見込み。

### (人工林経営の発展途上)

- ベトナムの林業・木材産業は、天然林の利用からアカシアによる人工林経営に移行、過去20年間で420万haを再植林。このうち300万haが木材ビジネス向け。
- ただし、ベトナムの農民は、人工林を4～5年で伐採して、低価格のチップ材として販売。人工林の経済便益と環境機能を高める余地あり。

### (輸出依存は不安定化)

- コロナ禍による世界経済の停滞で、国際的な木材市場は大きな影響を受けた。輸出に依存するベトナムの木材産業は、不確実性が高まり、国内における需要拡大が急務。

### 【課題】

木材・木材製品の国内消費拡大に向けた政策枠組が弱い。国内市場のニーズを満たす木材・木材製品の供給能力が不十分。

## ITTOプロジェクト

【事業名】 ベトナムにおける持続可能な木材消費の促進

【拠出額】 339.500米ドル(約37百万円)

【実施機関】 ベトナム木材・森林製品協会(VIFOREST)

【実施期間】 24ヶ月(2021年12月開始予定)

### 【事業内容】

#### ○木材消費促進のための政策枠組みの改善・整備

- 長伐期森林経営への移行戦略作成

国内木材消費を促進するための関係者の組織化 等

#### ○木材消費促進のための実証的取組・能力向上

持続可能な木材としての植林木の利用促進キャンペーンの実施

建築を専攻する大学生向け木材建築・デザイン研修

日本のスギ・ヒノキとベトナムのアカシアを利用したデザインコンテストの開催

バイオエネルギー利用促進のための新技術の普及

自営小規模事業者と植林組合のパートナーシップ構築

合法性の確保および森林法執行のための能力向上研修の実施 等

上記の事業実施に当たっては、適宜、我が国から、国内での木材利用促進政策の経験を踏まえた助言を提供。